

新型コロナウイルス感染症クラスターの収束と診療の再開について

この度当院で発生しました新型コロナウイルス感染症クラスターに関しまして、患者様やご家族をはじめ関係する皆さまには大変なご心配とご迷惑をおかけいたしました。改めて深くお詫び申し上げます。

また同時に多くのご支援や温かい励ましのお言葉を頂戴しました。とてもあり難く心よりお礼申し上げます。

さて、4月17日（金）の新型コロナ感染者発生以降、対策本部を立ち上げると共に、札幌市保健所及びグループ病院の素早いご支援をいただきながら、感染エリアの特定、感染者の洗い出しなど、速やかに初期の対応を行いました。

以降、感染エリアと非感染エリアを明確に区分し、これまで以上に感染対策を徹底した上で入院診療を継続すると共に、入院患者様及び職員の健康観察を怠りませんでした。その後、爆発的ではないものの新たな感染者が散発し、その都度、それまでの感染対策の点検と見直しを繰り返してきたところです。

おかげさまをもちまして、5月21日以降は新たな感染者は出ておりません。所定の健康観察期間が終了したことから、札幌市保健所と協議の結果、新型コロナウイルス感染症クラスターは収束したことをご報告いたします。

なお、これまで休止していましたが、次のとおり全て再開いたします。

次の診療等を再開します

- 入院患者の新規受入れ
- 外来診療
- 健診センター

再開日 2021（令和3）年6月7日（月）

今回の経験を大きな教訓として、引き続き感染対策には万全を期してまいります。これからも皆さまには安全、安心な医療を提供できるように努めてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

2021年6月4日

札幌南徳洲会病院
病院長 四十坊 克也

〔お問合せ先〕 事務長・下澤（しもさわ）
メール kazumoto.shimosawa@tokushukai.jp